

令和元年九月一日（日）

令和元年度福島県支部吟行会成績

葉貫琢良特選

ひぐらしやかつて茂吉も越えし関

根本きぬい

関跡に碑幾つ蟬しぐれ

佐久間晃祥

色変へぬ松や義家像若し

橋本研二

関の丘かすかに見える漁船ゆく

伊藤昭子

穂すすきや風船爆弾ここに揚げ

橋本研二

横山節哉特選

ひぐらしやかつて茂吉も越えし関

根本きぬい

義家像吹く風涼し石畳

葉貫琢良

勿来の関越ゆればみちのく秋兆す

橋本紘毅

爽やかや関所辿れば海光る

佐久間秀男

声荒き勿来の関の法師蟬

伊藤霞城

石橋林石特選

詩歌の径に背筋伸ばす九月かな

金澤耕治

色変へぬ松や義家像若し

橋本研二

女郎蜘蛛葉破れ巢を守る関所跡

杉山たかを

関跡の松の貫禄秋高し

飯高きみ

杖ひとつ木椅子に忘れつくつくし

船橋まつ子

甲田雅子特選

名にし負ふ勿来の関や法師蟬

橋本紘毅

ひぐらしやかつて茂吉も越えし関

根本きぬい

関跡に碑幾つ蟬しぐれ

佐久間晃祥

色変へぬ松や義家像若し

橋本研二

関跡を風が追ひ打つこぼれ萩

岩村勝

古市文子特選

海風の勿来の関も残暑かな

伊藤裕通

秋の蚊に呼びとめられし関の門

横山節哉

爽やかや関所辿れば海光る

佐久間秀男

弓掛けの松は朽ちをり秋の声

葉貫琢良

薄紅葉吹風殿の太鼓橋

齋藤万亀子

橋本研二特選

ひぐらしやかかつて茂吉も越えし関
弓掛けの松は朽ちをり秋の声
遣り水の堰越ゆる音涼新た
いにしへの風に聴き入る関の秋
関跡の松の貫禄秋高し

根本きぬい
葉貫琢良
猪狩行々子
横山節哉
飯高きみ

互選による高得点句（四点以上）

- 10点 ひぐらしやかかつて茂吉も越えし関 根本きぬい
7点 色変へぬ松や義家像若し 橋本研二
弓掛けの松は朽ちをり秋の声 葉貫琢良
6点 義家の蹄のひびき草の花 橋本研二
関跡の松の貫禄秋高し 飯高きみ
声荒き勿来の関の法師蟬 伊藤霞城
5点 騎馬像の鉄衣なる厄日かな 石橋林石
4点 詩歌の径に背筋伸ばす九月かな 金澤耕治
名にし負ふ勿来の関や法師蟬 橋本紘毅
秋風裡関所通りし生者死者 高崎公久
木々の間に二百十日の海風て 大越瑛子
関跡に碑幾つ蟬しぐれ 佐久間晃祥
波静か勿来の浜の秋日傘 加藤美代子
穂すすきや風船爆弾ここに揚げ 橋本研二
薄紅葉吹風殿の太鼓橋 齋藤万亀子